



完成した新しい園庭で遊ぶ子どもたち(亀岡市東本梅町・森の自然ほいくえん東本梅)

自然いっぱい遊び場

亀岡・東本梅保育所に完成

野外活動の充実をアピールするため、4月上旬に増えた。

新園庭には、昨年の災害で倒木した長さ約5メートルのクスノキを配置し、園児たちがバランスを取りながら木の上を歩いている。トンネルのある築山や、メダカを放流したビオトープ、石で囲ったキャンプファイアースペースなども設けた。

以前は350平方メートルに遊具が置かれていただけだった。隣接する園の畑(約460平方メートル)を遊び場に変え、園児が走り回れる場所

デザインは自治会と保護者、同志社女子大学の学生ら約30人で話し合い、4月に工事着手。保護者や地元の造園業者なども協力し、7月末に完成した。市保育課は「自然の中で育つ保育所の特長を保護者にアピールしたい」としている。(竹下大輔)